

町報



とうごう

まちのうごき

人口 6,246人(-10)

男 3,009人(-3)

女 3,237人(-7)

世帯数 1,759戸(-4)

62年9月1日現在人口
()は対前月比



大きく育ってね!

9月17日、牧水橋下の坪谷川に約6700匹の真鯉・ひ鯉を放流しました。

これは、東郷町むらおこし推進協議会がむらおこしイメージ流通戦略事業の一環として耳川漁協の協賛を得て、牧水祭に合わせ放流を行ったものです。当日は、坪谷幼稚園の園児が参加し、はじめての放流体験とあつて大きな声ではしゃぎながら鯉を放っていました。

62 / 10

第435号

発行/宮崎県東臼杵郡東郷町・編集/企画財政課 ☎69-2111

工事始まる 広域基幹林道熊山線

福瀬の切瀬から対岸の冠岳、熊山を通じ、県道山陰都農線を結ぶ広域基幹林道熊山線の工事が今年度から本格的に始まりました。

この事業は、宮崎県が昭和六十二年度から約十年かけて、総事業費二十三億円余りを投じて開設するものです。総延長は、十九・七キロメートルで開設に

伴う受益面積は、一、三二〇ヘクタールとなっています。今年度は、林道の起点になる切瀬と対岸を結ぶ架橋工事（橋台・橋脚）が行われます。この林道が開設されますと、路線一帯の森林施業が計画的に行われ、かつ能率のよい林業経営が期待されるとともに、国道と直接結ばれることから、林業労働力の有効な活用、分散している林業団地の広域化、組織化に

より生産性の向上が図られます。また、横瀬地区は船で渡り農作業を営んでいますが、この架橋により陸で結ばれることになり、同地区の農業経営に大きく貢献することと思います。開設後は、冠岳、熊山一帯の林業の振興は勿論のこと、自然を有効に利用した森林レクリエーション・観光開発など多岐にわたる開発が期待されます。



▲切瀬から対岸を結ぶ162mの架橋工事



◎起点～終点

位置図 1/5,000

むらおこし

座談会

九月七日、東郷町むらおこし推進協議会主催の「むらおこし座談会」が開かれました。これは、本年度県の指定を受けた「むらおこしイメージ流通戦略推進事業」の一環として実施したもので、県が委嘱している「むらおこし顧問団」の先生がた五名をまじえ、むらおこしのありかた、悩みなどについて活発な討論がなされました。本町は、「郷愁そそる牧水の里」をイメージとして生かし、地域と特産品を同時に売りだしていくことにより地域の活性化を図ることにしています。



ありし日の 牧水を偲ぶ 牧水祭

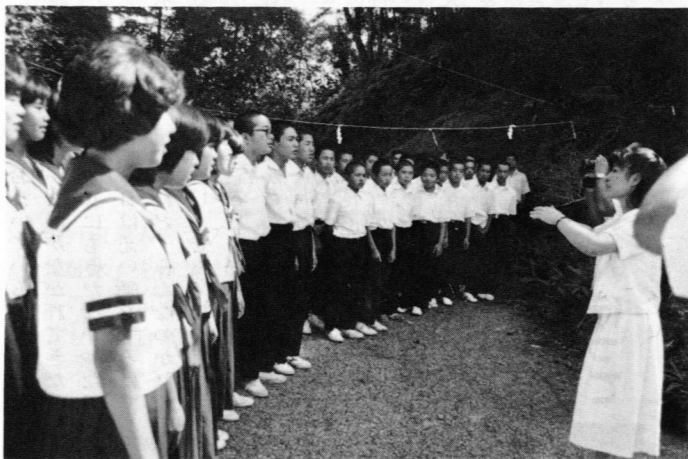
郷土が生んだ歌人・若山牧水の命日にあたる九月十七日、「牧水祭」が、牧水家裏山にある歌碑前で行われました。この牧水祭は、牧水顕彰会が牧水の命日に毎年行っているもので、当日は、町内外から約二

百名が参加して行われました。午前十時からの神事に続き、三浦治郎吉さんの「ふるさとの……」と朗詠の流れる中、みこ姿の坪谷中一年生の那須真喜子さん、矢野静華さんの二人が、歌碑に酒を注ぎました。

また、訪れた方々も、めいめに歌碑に酒を注ぎ、ありし日の牧水を偲んでいました。十一時からは、会場を坪谷中の体育館に移し、短歌入選者の表彰、坪谷小学校、東郷小学校、坪谷中学校の児童生徒による合唱、独唱が行われました。最後には、元宮崎女子短大講師の前田理恵子先生、日向高校の藤野弘義先生の独唱が行われ、澄みきった声が会場いっぱいに響き渡っていました。



▲朗詠の流れる中、みこ姿の坪谷中の生徒が歌碑に酒を注ぐ



▲歌碑前での坪谷中生徒による合唱



▲坪谷小児童による合唱



▲短歌入選者の表彰

選挙人名簿の閲覧等に関する事務処理要綱を制定

選挙管理委員会では、選挙人名簿の閲覧等に関する事務処理を適切円滑に処理し、この制度の趣旨を逸脱し、不当に利用されることを未然に防ぐために事務処理要綱を制定しました。この要綱には、名簿抄本の保管管理、閲覧等の範囲、閲覧等の申請方法が定められており、本年九月二日から実施いたしております。



▲前田理恵子先生と藤野弘義先生が牧水の歌を披露

宜野湾市を

訪ねて ①

福瀬及び坪谷小学校の児童が町の姉妹都市の沖縄県宜野湾市を訪ね、交流を深めたことは九月号でも紹介しましたが、今月も二名の児童の感想文を紹介します。

たのしかった 沖縄



福瀬小6年 田辺 亜紀

八月四日から、沖縄へ飛行機で行きました。私は飛行機にはじめてのるので、とてもたのしみでした。なぜかという、飛行機は高い所をとぶし、雲はどんなふうにかんではいるのかがみだかたからです。そして、なは空港につき、市役所のバスがむかえにきていたので、それについて見学へ行きました。ご前中は、ひめゆりのとうと摩文仁公園へ行き、摩文仁公園

▼東郷中プール完成

東郷中学校のプールが完成し 8月29日竣工式が行われました。

このプールは、国の補助10,885,000円を受け、総事業費38,220,000円で建設されたもので、ステンレス製6コース25メートルの施設となっています。

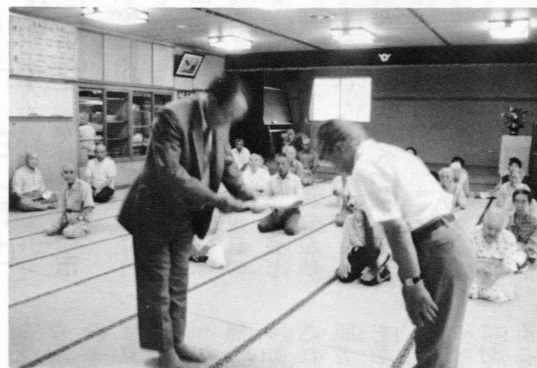


▲安全運転を

東郷町の高校・各種学校父母の会では、8月28日、東郷病院前で、ドライバーに交通安全を呼びかけました。当日は、交通指導員の協力のもと、日向市内の高校へ自転車通学している、高校生6人が街頭に立ち、交通安全を呼びかけるチラシと、健康飲料水を配り安全運転を訴えました。

▼へちま水で化粧

小野田老人クラブ「喜楽会」は、へちま水を利用し「へちま化粧水」を作りました。各家庭から持ち寄ったへちま水を、農協の生活指導員の指導により短時間で作りあげていました。貴方も是非自家用のへちま化粧水を作ってみてはいかがでしょうか。



▲老人ホーム一日園長

9月11日、東郷町老人ホーム鈴峰園で「一日園長」が行われました。一日園長に委嘱されたのは、町議会議長の橋口昭夫さんと、老人ホームの実情をより詳しく知っていただくことと行われたものです。

東郷町むらおこし推進協議会では、牧水生家を題材にしたテレフォンカードを作成しました。牧水庵と役場企画財政課でお求めください。(一枚六百元)



テレフォンカードを どうぞ!

は、戦争の時使用した、てつぼう・水とう・ヘルメットなど、さびてしまったのが、山のようにたくさんあった。戦争の時つかった水とうの中に、水がはいっているのもあった。その時代にきた服もいくつかかざってあった。午後からは玉泉洞、旧海軍司令部跡、守礼の門へ行きました。玉泉洞は、沖縄でいちばん長い鐘乳洞で、長くて大きな岩が、たくさん出ていて歩きにくかったです。小さな橋の下には、小さな川みたいなのが流れていて、水の中におさいせんばこもあって、お金がたくさんはいつていました。そして一日目の見学がおわり、ぎのわん市の市役所へ行き、私の父がつとめている日向市の市役所と、どんなところがちがうかなあと、思いながら中にはいりました。市長さんにあつて帰りました。二日目は、たのしい海水浴です。午前中は、アクアポリスや水族館などに行つて海水よくへ行きました。私は、海はきれいだろうなあと思ひながらやってきたらそうではありませんでした。



坪谷小5年 矢野 理奈

楽しみにまっていた八月四日朝四時におきてまっていた。宮崎を出発したとき沖縄に行くのと飛行機にのつたのがゆめのようにたまりませんでした。沖縄に着いた一日目、沖縄と宮崎との温度は、あまりかわらないことに気がつきました。でも、植物などはまったくちがいます。

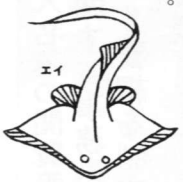
沖縄へ行くと

およいでいると、へんな石みたいなのがながれてきたりして、あまりにもきたなかつたです。今日はえい画をするはずだったけれど、みんなつかれていたのでしませんでした。三日目も午前中は見学で、午後からかい物などでした。かい物がすんだら、おきなわの人との交流会でした。自己紹介や、ゲームなどしました。そして女子は、福瀬にそかいしてきた、ばあちゃんの家にとまりました。四日目は、いよいよ帰る日です。

市役所のバスで、なは空港までおつてもらいました。バスからおりると、おきなわの人たちが何人か来ていて、私は、おきなわの人に声をかけられました。もうすこしおきなわにいたかったけど、小学生さいごのいい思い出ができました。



二メートルぐらいのエイや大きなイセエビもいました。宮崎でも、見られないような魚類がたくさんいました。お昼から海中公園で海水浴をしました。その海は、ごみがたくさんあつてきたなかつたけれど青くてすんできれいでした。そして、すなが白くてきれいでした。泳いでつかれました。もう、三日目。今日は、沖縄コンベンションセンターや森の川公園や喜数高台などいろいろと見学しました。昼食になったのでそば屋でそばを食べました。見た目では、うどんかそばかわかりませんでした。五時に、市内各子供会との交流会に参加しました。いろいろな友達がいちばん楽しかったです。それから、各家庭へ入りました。その家の家のおばさんがとても親切にしてくれました。その夜は、パーベキユをいただきました。とてもおいしかったです。そして、最後の日とてもさびしい気がしました。沖縄は、とても住みやすいところでした。またいつか行つて見たいなと思ひました。



短歌

尾鈴短歌会

点々と黒き班に秘めごとのある
がに哀に鬼百合の花 若藤 延世
七月の田園を行く車窓には堆肥
の匂い風の持ちくる 東村 吉市
健診にかかりて今日は台に寝る
大き口あけ胃カメラ飲み 本多 茂雄
わが棚田祖先の人の手形なる石
垣消えるか圃場整備に 黒木 久子
子等かつぐみこも御田に競い
入りどろんことなり祭賑はふ 都甲 鶴男

点描 (72)

地区を訪ねて ① 寺迫



寺迫は東郷町の飛び地の形をしているので、行ったことの無い町民は沢山いると思います。以前は県道仲野原美々津線から、国道十号線を走り、高松、寺迫あたりより入ったものですが、開パ道路が出来、福瀬大橋を渡り、この道を登り下りして、日田尾を過ぎて下ると大変近くなり、容易に行くことが出来るようになりました。開パ道路は道幅も広く舗装も立派に出来ています。寺迫区は面積が約三〇㎞あり

人口八八二人で、町内では三番目の面積と人口を有しています。町内で面積の広い区は坪谷が一番広く、人口は福瀬が一、〇七六人で最も多い。生産組合は寺迫、山之口、落鹿、中尾、吉ム田、庭田、長崎の七組合となっています。寺迫は東郷一を誇るものが沢山あります。

寺迫生産森林組合が有する山林面積は一、三九一haで、町有林一、一〇四haをはるかに凌ぐ面積を有していること。

次にプロイラーの年生産額も町内全生産額の五〇%以上を有していること。果樹生産額は勿論沿岸地帯産業としての生産で他の追随を許しません。その他畜産等にしても豚の飼育も相当に伸びていると思われま

す。美々津ゴルフ場が寺迫に出来たのが昭和四十二年七月で、このゴルフ場開設で寺迫区民約二十人以上の人がここで働いています。この収益も相当なものだと思います。ゴルフ場が誘致されて以来、町の収益も現在年間二七〇〇万円余の税収があることになっています。最近ではゴルフ熱が盛んで、美々津ゴルフ場でも年間五万人以上の人が使用しているとのことです。寺迫の地形は雑木山が集落に

若山牧水

牧水の小説

古い村(二)

塩月儀市

学校に於ける大立者は常に自分であった。自身の級の首席なるは勿論のこと、郡長視学の来た時などの送迎や挨拶、祝日の祝詞読みなども上級の者をさしおいて、幼少の矮小の自分が独りで勤めていた。で、自づと其処等に嫉妬さいぎんの徒が集り牛ぜうるを得ない。そして、その組の長者と推せんせられたのは、矢野初太郎という一少年であった。

ボーッ活動でも、いつも他区を圧勝していることがある。アメリカ派米農業実習生も既に数人以上になっていて、SAP活動にしても、町SAPの中心の活躍を示している。

寺迫小学校庭に建立されている、利権回復の碑は、寺迫区民の生命とする生産森林組合の尊い歴史を綴った記念碑です。

東郷町文化協会長

都 甲 鶴 男

初太郎は、自分に二才の年長級も二級上であった。その父は博勞で、博勞うちで、そして近郷の顔役のたよらないこともあった様であった。初太郎はその父とは打って変わった静かな順良な少年で、学問も誠によく出来た。田舎者に似合ぬ色の白い一寸見た目には女の子のような身体もあまり強くなかった。

以前は自分もよく彼に馴染ん無二の親友であったのだが今云う如く自分の反対党のために推されてその旗頭に立つに及び小胆者の自分はほんぜんとして彼を忌み憎み、ひそかに罵言を送るのに忙しかつた。

それやこれやで初太郎の自分に対する感情も以前の通りにあることは出来難くなり、自然自

分の白眼視するに至った。なおそれで止らず、この感情はわが一家と彼の一家との間に関係するに至った。

その頃、博勞で儲けあげて村内屈指の分限であった初太郎の父は兼ねて自分の父などが、常々旧家というを出して「なんの博勞風情が」というを振廻のが癪に障ってたまらなかつた所であったので、この一仲が持上るに及び、忽ち本気になって力み出した。そして万事につけ敵心を掬むに至った。小さな村のことではあり、このことは延いては一村内の平和にも関係を及ぼそうかという勢になってきた。で、当の両人は全く夢中になつていがみ合わざるを得ない。

自分の如きは昼夜戦争にでも出ている気持ちで勉強した。殆んどもう何年級などと云うことには頓着なく、教科書ばかりではあきたらず「小国民」「幼年雑誌」などという雑誌をも取寄せて耽読し、つゆ程の知識をも見逃しまじと備えた。

所が初太郎は突如として、村の小学校を去つて(彼はその頃、尋常科の補習にいた)県庁所在地の宮崎町の高等小学校に転じた。自分とのにらみが当然彼は土地の尋常科補習部を卒業したまでは静かにその山村生活に入るべきであったのである。

東白杵郡民体育大会

“総合優勝”に輝く



去る八月二十三日、町総合グラウンドで、東白杵郡内十ヶ町村から選手、役員約七百名余りが参加しての第二十六回東白杵郡民体育大会が盛大に開催されました。

この大会は、郡民の連帯とスポーツの振興を目的に毎年開催されているものです。本町選手団は、数ヶ月前から練習

訪問販売にご注意!!

「役場から委託を受けて電話の配線工事に来ました」と、「役場から」という言葉を使った悪質な訪問販売が町内でも最近発生しています。役場が訪問販売者に委託を

を重ね、一致団結して大会に望んだ結果、女子の部で優勝、男子の部で五位、総合で見事優勝に輝きました。

また、鶴野内の寺田紋太郎さんは、砲丸投げにおいて県民体育大会等において優勝するなど郡内のスポーツ振興に大きく貢献したとして、郡体協より表彰を受けました。

- 大会の結果は次のとおりです。(個人の三位まで)
- 〔一位〕池田平美・男子D 2000m・6分14秒 大会新、那須文代・女子D 100m・14秒9 大会新、甲斐由美・女子A 100m・14秒0 大会新、寺田紋太郎・男子G 砲丸投・14m 61 大会新、若杉由美・女子A 砲丸投・8m 64 大会新
 - 〔二位〕矢野久美子・中学女子100

して「物売り」をするようなことは絶対にありませんので、役場から……というような言葉には絶対に惑わされないように注意してください。

訪問販売を受けた場合は、「訪問販売員証」の提示を求めたり、「名刺」を求めたりして相手を確認しましょう。また、「万」物品を購入した場合は、契約書による契約を行い、現金支払いは絶対に行わないようにしましょう。

新ひむか

いきいき健康展

県では、県民の健康意識の高揚を図るため「日ごろの健康、すこやかな老後」をテーマに健康展を次のとおり開催します。

▽期日 10月16日～18日まで

▽場所 日向市中央公民館

日向市健康管理センター
日向市勤労青少年体育センター

東郷町 産業文化祭

十一月六日～八日

東郷町産業文化祭が、今年も十一月六日～八日までの三日間町中央公民館を中心に開かれますので、関係部門への多数の出品をお願いします。

演歌歌手を招く

また、最終日の十一月八日には、アトラクションとして公民館対抗歌合戦が行われます。歌合戦の前に、東京から演歌歌手一名を迎え、武中はじめさん、アコさんを司会に出演していただくことになっています。多数のご来場を。



点描 (72)

知区を訪ねて



文化講演会

東郷町文化講演会が次の日程で開催されます。多数のご来場を。

▼日時 10月31日 10時

▼場所 町中央公民館

▼講師 森 行成氏

(※森さんは、長野県生まれで新聞記者をされたあと、野沢村温泉で家業の旅館を継ぐとともに、野沢温泉村の町づくり手腕を振り、日本でも有数の温泉村に育てた一人です。)

飲用井戸等の

衛生対策について

県では、飲用井戸等の衛生対策を図るため「宮崎県飲用井戸等衛生対策要領」を策定し、昭和六十二年四月一日から実施しています。

つきましては、飲用井戸等の

施設を設置している方々につきましては、県の要領に基づく適切な管理をお願いします。

〈要領の概要〉

- 一、対象となる主な施設
個人住宅、店舗、工場等で飲用に使用している井戸等の施設。
- 二、設置者がしなければならぬこと。

①新たに井戸等を設置する場合は使用開始前に水質検査を行い安全を確認すること。

②施設の清潔保持に努め、定時の水質検査を行うこと。

③検査の結果、異常があった場合は直ちに使用を中止し、町または保健所の指示を受けること。

〈問い合わせ〉

役場住民課または日向保健所。

赤い羽根

共同募金

赤い羽根共同募金運動は、今年で四十周年を迎えました。

今年「愛にはじまり希望に つなぐ赤い羽根。ありがとう四十年」をキャッチフレーズに、十月一日から十二月三十一日まで全国で共同募金運動が展開されます。あなたの善意を赤い羽根によせていただきますようお願いいたします。

原子爆弾被爆者健康診断

被爆者健康手帳及び健康診断受診者証をお持ちの皆さんを対象とした、健康診断が十月一日から十月三十一日までに県下各保健所で実施されます。健康診断日は、各保健所により異なりますので、お近くの保健所に問い合わせてください。(受診料は無料です。)

日向保健所 五二一五二〇一

行政相談

国の仕事をはじめ、県や町の仕事に対する苦情や要望など相談に応じています。当日以外は自宅で受付けています。

▼日時 10月20日 9時～15時

▼場所 老人福祉館 行政相談員

東郷町仲深 山口俊一

今月の納税等

国民健康保険税 五期
町県民税 三期



善意の灯

忌明けとして、つぎのかたから町社会福祉協議会へ社会福祉のための善意がよせられました。厚くお礼申し上げます。

◎仲深の三浦等さんから

(ニワさん・86歳ご死去)

◎寺迫の黒木幸男さんから

(ハヤさん・87歳ご死去)

◎日向市の糸平秋義さんから

(三次郎さん・82歳ご死去)

◎鶴野内の三原清臣さんから

(辰己さん・81歳ご死去)

◎日向市の長池克己さんから

(元吉さん・88歳ご死去)

戸籍だより

(八月届出分)

出生 おめでと

赤ちゃんの名	父の名	住所
黒木拓真	純男	寺迫
三浦誠司	勝	仲深
山本真由美	建男	仲深
寺原有紀子	孝治	鶴野内
日高秀之良	範	下渡川
黒木慎二	武利	寺迫
寺原礼	稔	坪谷

結婚 お幸せに

氏名	住所
那須正人	北海道
那須久美子	八重原
織田富生	西郷村
那須章子	坪谷

死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
片江アキエ	82歳	鶴野内
長池元吉	88歳	小野田
清水アツサ	75歳	羽坂
糸平三太郎	82歳	福瀬
三浦ニワ	86歳	仲深
河野宗利	63歳	小野田
水野サエ子	49歳	仲深
菊池明徳	74歳	小野田
三原辰己	81歳	鶴野内
黒木ハヤ	87歳	寺迫
鶴田トク	84歳	迫野内